

高校生それは人生の1つの大きな分岐点・・・だけど・・・



『やりたいことよく解からないけど、

とりあえず大学行かなきゃ駄目じゃない?』

『行きたくないけど大学行かないと就職できないじゃん』

『大学は難しいから専門にしておこうかなあ』



↑
コレでも、もったいない!!

高校生活、それも3年生にもなるといつも**進路**の話が持ち上がります。

高校3年生、17、18歳。

まだ自分の進路を決めかねている人は多いと思います。

それでも社会の常識、仕組み的に進路を決め急いでしまう。

そんな時によくこんな声を聞きませんか?

それじゃあ**一生に一度きりの人生**が**もったいない!!**

そこで私達は**人間の人生**を見直し、**デザイン**していきたいと思ひます。



まずは身近な人々のこれまでの人生を見てみましょう。
 私達はこの例を見て、**長所**、**短所**を探してみることにしました。

現25歳 Aさん		長所 短所	現46歳 Bさん		長所 短所
小学生	◀ピアノ、書道、英語などを習う	◀遊ぶ時間がなく 余裕がない	小学生	◀興味があることに触れ、 いつも遊んで過ごしていた	◀視野を広げる。 可能性が広がってよい
中学生	◀学力的に不安のない高校を選択 しかしその為に商業高校へ 進学となる。	◀楽な道を選んだ 将来を考えていない	高校生	◀友達に誘われて衛生看護科へ	◀軽率な動機
高校生	◀何となく大学にいきたいと 思うようになる		卒業	◀卒業と同時に専攻科受験し合格 同じ学校に5年いることに	
大学生	◀その後、福祉関係に興味を持つ 実現させる為にひたすら勉強 一年留年の後卒業	◀やりたいことを 目標へ向け頑張った	20歳	◀看護婦国家試験合格 東京の大学病院に就職。 内科に勤める	◀順風満帆
24歳	◀やりたい仕事の求人がなく、 できる仕事を探しあっさり就職 医療事務で働く現25歳である。	◀可能性に向けての 努力が見られない		死に立ち会うことの恐怖から 生に立ち会う助産婦に憧れる	◀仕事の過酷さに 誘てなかった
			22歳	◀助産婦学校受験	◀新たな可能性を 見つけた
			23歳	◀地元で助産婦として働く	
			24歳	◀結婚と同時に退職	
			35歳	◀助産婦パートとして復帰...	◀やりたいことを求めている

では次に他国と日本の進路の進学の違いを比べてみましょう。
今回私達は我が校のALT、イギリスからいらしたMsクレアに直にインタビューし、イギリスと日本とを比較することに成功しました！



Msクレア

大学での学習

英：専門的なことを少教科で
日：総合を踏まえながら専門も取り込む

高校一偏差値

英：ありません
(英国では数値で進路を考えません)
日：あります

高校一日程

英：月～金 8:30～16:00
日：月～金 8:30～16:00

義務教育期間は？

英：5～16歳
日：6～15歳

高校への進学率

英：71%
日：97%

高校一学区

英：あります
日：あります

大学への進学率

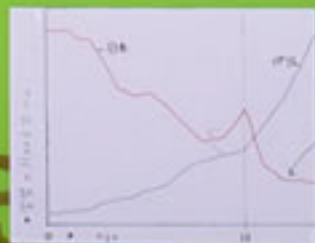
英：60%
日：49%

小中学生

英：塾などはいかない
日：塾などに通う子が多い

大学

英：ほとんどが国立
日：私立の方が多い



学習状況

unbelievable!!

Msクレアは「日本の小中学生の多くが塾に行くので驚いた」と話していました。さらに「日本の大学生はノンビリー」とも言っていました。イギリスでは全く逆なのです。英国の教育を知ることによって日本における教育の問題点が見えてきたようです。こうして比べてみると日本の教育はどこか矛盾しているような気がしませんか？小さい頃にぎっちり勉強するのに、大学に入学後は学習状況が悪くなっているようです。



今までの調査を踏まえて、私達は理想の人生プランを立てました。

モットーは「常識にとらわれないことが大切！」

	プラン	解説
小学生 1～3年	◀ 習い事も無理にいっぱいやらないで、好きなものだけやる。	◀ 勉強塾なんて行かなくていいんじゃない？
中学生 1～3年	◀ 自分の好きなこと、興味のあることを探し、見つけてうちこもう。	◀ 未来よりも今を大切に生きるべき年齢。それが自然に将来に繋がっていくのでは？
	◀ いろいろな学校、職業に多く触れて一週間の授業の中で進路や将来について考える時間を設けていこう。	◀ 進路について少しずつ考えていこう。
高校生 1～2年	◀ 進路X年とは・・・ 私達が提案する高校の在り方です。4年生のようなもので、復習や、基礎などを学びながら進路についてじっくり考えます。	◀ 3年間で進路を決められない人は多いと思います。そこでこのX年です！自分の進路をじっくり見つめてみましょう。
高校卒業	◀ 大学進学 or 就職 入学卒業試験も英国のような制度を取り入れ、これまでになかった「入りやすく出にくい」というかたちにします。	◀ これにより大学での学習状況向上を図ります。
	大学では選んだ進路の専門分野を少ない教科で学ぶ	◀ ここでは英国を見本にして専門的なことに重点を置いてみましょう。
大学の夏	大学に通った人はよいよ就職です。きちんと卒業した人から就職します。常に自分の人生や今現在の自分を見つけていきましょう。	

実現に向けて私たちが考えるべきこと、すべきこと。



個人としての人生についての考え方

長い人生の中でやりたいことを発見するためには、自分から様々な分野に手を広げ広い視野を培うことが重要である。これには前向きに自分から行動を起こす行動力が必須！また、様々な知識を得るために読書することも有効である。

反対に、一番してはいけないことは自分の進路に対して受け身になること。自分探しは積極的にならなければ始まらない！

大人になってからでもこの意識を失ってはならない。たとえ仕事に就いたとしても常に自分を見つめ直して見ることがいいだろう。やりたいことがあればそこに向かって今から頑張ってもいいじゃない！どんなに大人になっても人生の路線変更は出来るのだから。

国や社会を通しての人生の考え方

日本では私立大が多く、私達はそれを当たり前のことと思ってきていた。だが、イギリスを例に出して見てみるとイギリスは圧倒的に国立が多く、私立はほとんどなかった。これは、イギリスの教育熱心さを示しているのではないだろうか？日本にもこのような教育熱心さが欲しい！！

入学が難しく卒業が簡単、そんな考え方もどこか間違っているように思える。小学生の時に頑張って、大学生になって学習状況が悪くなるようではいけないのではないだろうか？だったらイギリスのように子供時代をもっとフリーにし、大学卒業レベルを上げることで学習状況の向上を図ってはどうだろうか？

また高校での進路について考えられる時間が欲しい。中学の時から、少しずつ職業などに触れられる機会があってもいいと思う。

最後に、大人になってからでも自分の考えで進路を変え、進み直せるような国のゆとり、社会の寛容さが欲しいと考える。